

驚異のアンサンブルと絶妙のコラポレーション再演決定！

セキスイハイム presents

辻井伸行 オルフェウス室内管弦楽団

特別協賛：セキスイハイム
ゴールドレベルスポンサー：KPMG

ロッシーニ：「セビリアの理髪師」序曲 ラヴェル：クーブランの墓
ラヴェル：ピアノ協奏曲 メンデルスゾーン：交響曲 第4番「イタリア」

高い技術力を誇る世界最高峰の室内管弦楽団と辻井伸行の夢の競演が、華麗なラヴェル「ピアノ協奏曲」で、3年ぶりに実現！オルフェウス室内管弦楽団は、メンデルスゾーンの「イタリア交響曲」で、そのたぐいまれなるアンサンブルの極致を示し、エネルギーに満ちた熾烈たる演奏を披露。

4/18 木

18:00開場 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 17,000円 A席 14,000円 B席 11,000円
C席 9,000円 D席 7,000円 U25 3,000円 (全席指定・税込)



「伝説の巨匠」アシュケナージ、至宝のピアニズム！

アシュケナージ ピアノ・デュオ ウラディーミル&ヴォフカ・アシュケナージ

シューベルト：幻想曲 D940 ラヴェル：ラ・ヴァルス
ブラームス：ワルツ集 op.39 ラフマニノフ：組曲第1番「幻想的絵画」op.5

指揮者として著名であり、また伝説の巨匠ピアニストでもあるウラディーミル・アシュケナージが、息子ヴォフカとオーケストラに匹敵する二台ピアノによる迫力あるパフォーマンスを展開。ウラディーミルのピアノ演奏が聴けるのは、このデュオ・コンサートのみと言われる大変貴重な機会。シューベルト、ブラームス、ラヴェル、ラフマニノフの名曲が、親子ならではの絶妙なるアンサンブルで味わえる、音楽の喜び溢れる魅惑のコンサート。

5/17 金

18:00開場 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 C席 4,000円 U25 2,000円 (全席指定・税込)



ショパンに愛されたピアニストが奏でる珠玉のプログラム

ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル

ショパン：3つのワルツop.69-1、op.34-3、op.64-2、マズルカ風ロンドop.5
舟歌op.60、バラード第1番op.23 ほか
パデレフスキ：4つの小品(メロディ、伝説、夜想曲、メヌエット)

ダン・タイ・ソンは、第10回ショパン国際コンクールで東洋人初の優勝に輝き、新世代のショパン弾きとして注目された。以来、「ショパンに愛されたピアニスト」と呼ばれ、演奏家として、指導者として世界中で活躍を続けている。玉を転がす様な美しい音色、繊細極まりないニュアンスに満ちた演奏は、正に「ショパン弾き」そのもの。満員の聴衆を興奮のつばに誘い込む名演に期待大！

10/15 火

18:00開場 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 8,000円 A席 6,000円
B席 5,000円 C席 4,000円 U25 2,000円 (全席指定・税込)



マーラーが指揮した伝説のオケが奏でる「マーラー第5番」!

FUJITEC presents

特別協賛：フジテック株式会社

ケント・ナガノ指揮 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ：辻井伸行



ベートーヴェン：レオノーレ序曲 第3番
リスト：ピアノ協奏曲 第1番
マーラー：交響曲 第5番

ヨーロッパ屈指の歴史を持つオーケストラが、最も得意とするマーラー畢生の大作「交響曲 第5番」は、このシリーズ最高の聴きものだ。加えて、辻井が超絶技巧を駆使して初めて挑むリストの難曲「ピアノ協奏曲 第1番」は、伝統オケの豪壮な響きと相俟って絢爛豪華な時代絵巻が繰り広げられること間違いなし。



11/2

16:15開場 17:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 22,000円 A席 18,000円 B席 14,000円
C席 10,000円 D席 7,000円 U25 3,000円

(全席指定・税込)

世界最高峰の合唱団による2大レクイエム×広上&京響

主催：(公財)京都市音楽芸術文化振興財団、京都市

スウェーデン放送合唱団 広上淳一指揮 京都市交響楽団 第10回名古屋公演



ソプラノ/シルヴィア・シュヴァルツ
メゾ・ソプラノ/ベサン・ラングフォード
テノール/オリヴァー・ジョンストン
バリトン/ミラン・シリアノフ



フォーレ：レクイエム 二短調 op.48 モーツァルト：レクイエム 二短調 K.626

人の声の美しさ!世界のオケからオファーの絶えない当代最高といわれる合唱団が、至高の名曲モーツァルト、フォーレの二大レクイエムを歌う胸を打つ感動のコンサート!共演は人気抜群の指揮者・広上淳一率いる、京都市交響楽団。名古屋でも定期演奏会を積み重ねてきて、今回は第10回名古屋公演を記念しての感動のスペシャルステージ。



11/24

15:15開場 16:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 13,000円 A席 11,000円 B席 9,000円
C席 7,000円 D席 5,000円 U25 2,000円

(全席指定・税込)

オペレッタの殿堂によるニューイヤー・コンサートの決定版！

主催：キュービー株式会社

キュービー スペシャル

ニューイヤー・コンサート2020 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

指揮：オーラ・ルードナー

ソプラノ：シビーウェ・マッケンジー テノール：ミロスラフ・ドヴォルスキー

バレエ：バレエ・アンサンブルSVOウィーン

ニューイヤー・コンサートの本場、オペレッタの殿堂、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団が、大編成のオーケストラで名古屋の新年を祝います。ウィーンの名歌手二人に、専属のバレエ団から選りすぐりの二組のペアが加わって、「美しく青きドナウ」ほか、おなじみのウィンナ・ワルツの定番に、フォルクスオーパー得意のオペレッタの名場面集など、華やかで芳醇なウィーン情緒をお楽しみ下さい。



2020

1/11 土

13:00開場 13:30開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 10,000円 A席 8,500円
B席 7,000円 C席 5,500円 U25 2,000円

(全席指定・税込)

ベートーヴェン生誕250周年に贈る渾身のプログラム！

佐渡 裕(指揮)×エフゲニ・ボジャノフ(ピアノ) 兵庫芸術文化センター管弦楽団

オール・ベートーヴェン プログラム

ベートーヴェン：序曲「コリオラン」 ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

交響曲 第3番「英雄」

佐渡裕を芸術監督として結成された兵庫芸術文化センター管弦楽団、創設15周年を記念しての特別演奏会。世界一流オーケストラを指揮する佐渡が情熱を傾け育て上げたオケが、生誕250周年を迎える「オール・ベートーヴェン・プログラム」でその魅力を存分に発揮する。佐渡の信頼厚いエフゲニ・ボジャノフが、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」を、メインは交響曲第3番「英雄」を披露。豪壮華麗な演奏でベートーヴェンの真髄が聴ける期待のコンサート。



2020

1/30 木

18:00開場 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 10,000円 A席 8,500円
B席 7,000円 C席 5,500円 U25 2,000円

(全席指定・税込)

スーパーシートのご案内
Super Seat チケット発売中

1年間通して楽しめる7公演を特別価格で!

○7公演同じ席 ○割引料金で ○良席をご用意

S席 81,000円 **A席 67,000円**

※スーパーシートは東海テレビチケットセンター、クラシック名古屋のみのお取り扱いとなります【全て消費税込】

愛知県芸術劇場コンサートホール

4.18(木) 辻井伸行
 オルフェウス室内管弦楽団
 S席 17,000円 A席 14,000円 B席 11,000円
 C席 9,000円 D席 7,000円 U25 3,000円
 Pコード 134-103
 Lコード 41051

5.17(金) アッシュケナーズ ピアノ・デュオ
 ウラディーミル&ヴォフカ・アッシュケナーズ
 S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円
 C席 4,000円 U25 2,000円
 Pコード 134-108
 Lコード 41052

10.15(火) ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル
 S席 8,000円 A席 6,000円 B席 5,000円
 C席 4,000円 U25 2,000円
 Pコード 134-110
 Lコード 41053

11. 2(土) ケント・ナガノ指揮
 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ:辻井伸行
 S席 22,000円 A席 18,000円 B席 14,000円
 C席 10,000円 D席 7,000円 U25 3,000円
 Pコード 134-113
 Lコード 41054

11.24(日) スウェーデン放送合唱団
 広上淳一指揮 京都市交響楽団 第10回名古屋公演
 S席 13,000円 A席 11,000円 B席 9,000円
 C席 7,000円 D席 5,000円 U25 2,000円
 Pコード 134-118
 Lコード 41055

2020 1.11(土) ニューイヤー・コンサート2020
 ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団
 S席 10,000円 A席 8,500円 B席 7,000円
 C席 5,500円 U25 2,000円
 Pコード 134-120
 Lコード 41056

2020 1.30(木) 佐渡 裕(指揮)×エフゲニ・ボジャノフ(ピアノ)
 兵庫芸術文化センター管弦楽団
 S席 10,000円 A席 8,500円 B席 7,000円
 C席 5,500円 U25 2,000円
 Pコード 134-122
 Lコード 41057

※すべて全席指定・税込価格です。※出演者、演奏曲目、曲順などが変更になる場合がございます。その場合もチケットの払い戻しは承れません。ご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※公演中止等の理由で返戻が生じた場合、スーパーシートのお客様には、定価からの割引率に応じた額の返戻となります。※U25はクラシック名古屋(電話)のみ取扱い。25歳以下、未場時に年齢確認有。お一人様1公演につき1枚限り。※車椅子でご来場されるお客様は、ご購入前に必ずクラシック名古屋までお問合せください。

チケット取扱い

東海テレビチケットセンター
052-951-9104
tokai-tv.com

クラシック名古屋
052-678-5310

アイ・チケット 0570-00-5310
 clanago.com/i-ticket
 チケットぴあ 0570-02-9999 + Pコード
 ローソンチケット 0570-084-004 + Lコード
 0570-000-407 ※オペレーター対応
 芸文プレイガイド 052-972-0430
 栄プレチケ92 052-953-0777
 e+(イープラス) eplus.jp (パソコン・携帯)
 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

公演のお問合せ 東海テレビ放送 事業部 TEL 052-954-1107(平日10:00~18:00)
 チケットのお問合せ 東海テレビチケットセンター TEL 052-951-9104(平日10:00~18:00) / クラシック名古屋 TEL 052-678-5310
 ※このリーフレットに掲載されている内容は2019年3月の情報です。

第23回 スーパークラシックコンサート シリーズ協賛企業



第23回 スーパークラシックコンサート

躍動! 進化系マエストロ&ソリスト!

世紀の饗宴! 注目ピアニストが芸文に大集合!

最高級の逸品揃い! 豪華精選の7公演!

2019年度の第23回スーパークラシックコンサートは、世界の楽壇で躍進を続ける音楽家たちの特徴あるレパートリーを精選してお届けします。個性豊かで、音楽を聴く喜びと楽しさを教えてくれるコンサートです。特に、巨匠から新進気鋭まで、味わいの異なる5人のピアニストの聴き比べができる興味深いシリーズです。「聴きどころ観どころ」をご紹介します。

シリーズの開幕を飾るのは、4月18日(木)「辻井伸行 オルフェウス室内管弦楽団」です。オルフェウス室内管弦楽団は、響の豊かさや親密さと温かみの適合を求めて、1972年にカーネギーホールを本拠地として結成されました。指揮者なしの独創的な演奏スタイルは、ソリストとしても活躍しているメンバーの高い技術力に支えられて、驚異のアンサンブルを誇り、濃いエネルギーに満ちた音楽性豊かな演奏を繰り広げて聴衆を魅了しています。辻井とは、剛性抜群、双方の感性が高い境地で一致し、深い信頼関係に結ばれています。一昨年の共演が高い評価を得て、再度の共演となりました。辻井が演奏するラヴェル「ピアノ協奏曲」は、大胆で豊かな色彩感と和声感覚を持つ、舞踏のリズム、ジャズの要素が特色の円熟作。辻井の華麗な名人芸が聴きものです。オルフェウス室内管弦楽団は得意中の得意、メンデルスゾーンの「イタリヤ交響曲」で、そのアンサンブルの真骨頂を生まれ変わった芸術劇場に響かせてくれることでしょう。

5月17日(金)は「アシュケナージ ピアノ・デュオ」。ウラディーミル・アシュケナージは、指揮者として世界的に認められています。元々1962年チャイコフスキー国際コンクールで優勝して以来、活発な活動を続けている。ピアノ演奏に必要とされるあらゆる条件を満たした稀有のピアニストの一人です。そのアシュケナージが息子ヴォフカと1981年以来、「ピアノ・デュオのレパートリーを普及させたい」と活動を活発に行い、高い評価を得ています。今回も大作曲家がピアノ・デュオの表現力を生かした名曲を厳選して、親子ならではの息の合った演奏で、その魅了を最大限に伝えるコンサートです。ウラディーミルのピアノは、現在、デュオ・コンサートでしか聴けない大変貴重な機会となります。沈黙! 拘束! ピアノ技術の粋を極めた、親子二台のピアノ・アンサンブルが繰り広げる壮大で渦巻く世界を味わって下さい。

10月15日(火)は「グン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル」。グン・タイ・ソンは、ベトナムの首都ハノイの出身。1980年の第10回ショパン国際コンクールで、イーヴォ・ポゴレリッチをしりぞけて、東洋人初の優勝に輝き、ポロネーズ賞、マズルカ賞、コンチェルト賞を受賞するなど、新世代のショパン弾きとして注目され、以来、ショパンを中心レパートリーとして活躍を続けています。玉を

転がす様な美しい音色、繊細極まりないニュアンスに満ちた演奏は、正に「ショパン弾き」そのものです。ワルシャワ・ショパン協会から歴史的楽器によるショパン全集録音を依頼されて現在進行中です。近來は、世界各国のコンクール審査員を務め、指導員としての評価も高く、前回2015年のショパン・コンクールでは、3位から5位が教え子であるという輝かしい実績を残しています。今回は、待望の「バラード第一番」「舟歌」「ワルツ」などのショパンの作品と、ポピュラー名曲「パデレフスキのメヌエット」が聴けるのが嬉しいですね。

11月2日(土)は「ケント・ナガノ指揮 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ:辻井伸行」。ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団は、メンデルスゾーンとブラームスの生まれ故郷であるドイツ第二の都市ハンブルクで歌劇場付オーケストラとして発足しヨーロッパ屈指の歴史を持つオーケストラです。チャイコフスキー、リヒャルト・シュトラウスとも共演し、1891年から97年にはマーラーが指揮者を務めたなど大作曲家の信頼が厚く、近來では、フルトヴェングラー、ワルター、ベームから、ティレマン、ベレンコ、ゲルギエフ等と名演の数々を披露してきました。2015年秋のシーズンから、バイエルン州立歌劇場の総音楽監督、ベルリン・ドイツ交響楽団の首席指揮者を歴任し、世界で大活躍しているケント・ナガノが首席指揮者に就任し、一層の充実ぶりを示しています。今回が初来日。ゆかりがあり、最も得意とするマーラーの大作「交響曲第5番」は、最高の聴きもの。加えて、辻井が超絶技巧を駆使して初めて挑むリスト「ピアノ協奏曲 第一番」、ドイツの古豪オケの豪壮な響きと相俟って樹立豪華な時代絵巻が繰り広げられるでしょう。

11月24日(日)は、「スウェーデン放送合唱団 広上淳一指揮 京都市交響楽団」。スウェーデン放送合唱団は1925年創設、合唱の神様エリック・エリクソンの指導によって飛躍的發展を遂げ、その後、ベーター・ダイクストラが伝統を引き継ぎ、世界最高の合唱団という評価を得ています。ムーティ指揮、ベルリン・フィルと共演したモーツァルト「レクイエム」は名盤の響れ高いもの。イギリスのグラモフォン誌は「明確なアタック、羽毛のようなフレーズ、そして、時々恐れを感じるほどの力が爆発する。そのサウンドには、一つの驚異もない。温かく甘美でバランスが良く、そして最も大切なことは中身の詰まった完璧さであり、人々の声が素晴らしいアンサンブルを奏でていることである。誰もがこの合唱団の虜になってしまうのだ」と絶賛しています。人間の声はかくも美しく聴く者の心をつくのだから。天国の響きを奏でるフォーレ、胸を刺的に揺さぶるモーツァルト、世界最高峰の合唱団が至高の二大レクイエムでその真価を発揮します。共演は、1956年創

立で、超人気の京都市交響楽団。指揮は、2008年に常任指揮者就任以来、京響を飛躍的發展に導いた広上淳一。第10回名古屋公演を記念して、世界最高峰合唱団と二大レクイエムを演奏するという豪華企画です。

2020年1月11日(土)は、「ニュー・イヤール・コンサート2020 ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団」。ウィーン・フィルと並び世界最高のウィーン・ワルツ、ポルカを聴かせてくれるウィーン・フォルクスオーバー交響楽団は、ウィーン・オペラ、オペレッタを上演する歌劇場、ウィーン・フォルクスオーバー(市民劇場)のオーケストラ・メンバーにより1917年に結成され100年間ウィーンの市民に愛されています。1994年より26年間に亘って毎年、お正月に日本各地で演奏会を開催、大好評を得ています。今回は、ウィーン・フォルクスオーバーのコンサート・マスターを永年務め、オペレッタを指揮して人気のオーラル・ロードナーを迎えるの登場です。ニュー・イヤール・コンサートの本場、ウィーン・オペレッタの殿堂、ウィーン・フォルクスオーバーが、大編成のオーケストラで名古屋の新年を祝います。ウィーンの名歌手二人に、フォルクスオーバーのバレエ団から選りすぐりの二組のペアが加わって、「美しく青きドナウ」ほか、おなじみのウィーン・ワルツの定番にフォルクスオーバー得意のオペレッタ場面など、華やかで芳醇なウィーン情緒をお楽しみ下さい。

1月30日(木)は「佐渡裕(指揮)×エフゲニ・ボジョノフ(ピアノ) 兵庫芸術文化センター管弦楽団」。阪神大震災の復興のシンボルとして2005年に誕生した兵庫芸術文化センターと同時に佐渡裕を芸術監督として結成された兵庫芸術文化センター管弦楽団、創設15周年を記念しての特別演奏会です。メンバーは、世界中で毎年行われる難しいオーディションで選抜される35歳以下の若手プレーヤーで構成され、常にハイ・レベルを保っています。世界一流オーケストラを指揮する佐渡が情熱を傾け育て上げたオケが、その魅力を発揮する生誕250周年を迎える「オール・バートーヴェン・プログラム」です。ブルガリア出身の鬼才、ショパン・コンクールでアルグリッチに激賞されたエフゲニ・ボジョノフが、佐渡の指名でピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演します。更に、音楽の都ウィーンで活躍する佐渡が得意とする交響曲第3番「英雄」を披露、豪華華麗な演奏に期待大です。

以上、今、一番聴きたい話題の指揮者と名手たちとの組み合わせによる、最高レベルの、今でしか聴けない強烈個性のプロジェクト・コンサートを厳選しました。心に残る名演奏をお約束します。音楽の楽しさと感動に溢れたコンサートに、是非お出かけ下さい。

(都築義高)